

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 子宮頸癌に対する放射線治療後の探索的研究
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 放射線科 (研究責任者)坂口 雅州
<研究期間> 承認日 ~ 2019年 12月 31日
<研究の目的と意義> 子宮頸癌に対して、化学放射線療法が広く行われている。しかし、予後不良因子は主に術後所見によるもので、治療前に予後を予測できる因子の検討が必要になる。そこで、子宮頸癌で放射線治療を受けた患者を後方視的に検討し、治療成績や予後因子を明らかにする。
<利用する試料・情報の項目> 採血などの検査データ、画像データ、診療記録を後見的に見直すことにより、研究を行う。血液をはじめとした試料を用いるような分析は行わない。
<対象となる患者さん> 2012年1月1日～2019年3月31日の間に子宮頸癌で放射線治療を行なった方。
<研究の方法> 今回我々は過去に放射線治療を行なった子宮頸癌の患者さんについて画像や診療記録を見直すことで、治療成績や予後因子を検討する。
<お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1) 放射線科 氏名:坂口 雅州 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2552 (PHS)8379